

与謝野町立


加悦小だより

＜学校教育目標＞
 多様な人とつながりながら 主体的に学び
 粘り強く挑戦し続け 未来を切り拓く児童の育成

令和 7 年 12 月 24 日

 加悦小 HP
 第 10 号

“やりたい”から始まる学び 子どもたちの主体性が輝いた 2 学期

大きな行事の多い2学期も、いよいよ終わりを迎えます。今年は9月には記録的な暑さが続き、はじめて熱中症警戒アラートによる臨時休業を経験しました。その後は急に冷え込み、紅葉を楽しむ間もなく冬の気配が訪れました。季節の変化の速さに驚かされる一年でしたが、子どもたちはその中でたくましく学び、成長してきました。

今年は、教師が考えて決めるのではなく、子どもたち自身が考え、主体的に取り組むことを大切にしました。その思いを込めて、行事の取組方を見直し、子どもたちが自分の力で挑戦できる場を増やしました。

「かやっこチャレンジラン」では、「得意な子も苦手な子も、誰もが目標をもち前向きに取り組むことができる」ことをテーマに取り組みました。当日までの間、自分で目標を立て、挑戦し、また新たな目標に向かう子どもたちの姿が見られました。自分の成長を実感しながら、次の目標に向かう子どもたちの表情はとても輝いていました。

学習発表会では、「伝えたい、聞きたい、話したい ○○したいがいっぱいの学習発表会」をテーマに、ふるさとについて学んだことを自分の言葉で伝えたいという思いを大切に、各学年が工夫を凝らした発表を行いました。保護者や地域の方から「子どもたちのふるさとを大事に思う気持ちが伝わってきた」「これからもふるさとを大事に思う気持ちを持続してほしい」とうれしい感想をいただきました。

さらに、子どもたちが企画から運営まで取り組んだ「チーム遊び」や「大縄大会」では、高学年がリーダーシップを発揮し、低学年がそれに応える姿がありました。こうした活動は、学校のよい文化、よい伝統へと育っていると感じます。どの取組にも共通していたのは、子どもたちがワクワクしながら、みんなで考え、力を合わせる姿でした。

明日からは約2週間の冬季休業に入ります。子どもたちはご家庭や地域で多くの時間を過ごします。家族の一員、地域の一員としての役割を果たす機会になればと願っています。ぜひご家庭でも、新しい年の目標や抱負について話し合っただけだと嬉しいです。

最後になりましたが、子どもたちの健やかな成長のため、いつも本校を支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。来年も引き続きご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

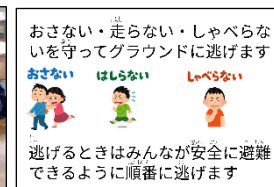
どうぞよいお年をお迎えください。

校長



地震の避難訓練を実施しました

12月5日(金)の休み時間中に地震が起こった想定での避難訓練を行いました。加悦中学校と合同での避難訓練を計画していましたが天候等の関係により、合同とはなりません。休み時間の訓練のため、大人がいない場所で訓練が始まる可能性を子どもたちにイメージさせ、事前の指導では様々な場面においての避難の仕方や避難をするときに大切なことについて考えました。その際、4年生が総合的な学習の時間に防災について学が中で作成した「避難訓練～自分の命を守るためにできること～」という動画を、全校がそれぞれの教室で視聴しました。訓練ではその場にいた高学年が低学年に「机の下に入って。」と声を掛けたり指示を出したりするなど、その場の状況に合わせた避難行動をする様子も見られました。今後も自分の命を守るために安全な行動を自ら考え、判断してできるように学校でも指導していきます。ぜひ、ご家庭でも話題にしてください。



子どもたちのがんばり

令和 7 年度京都府「海の子」作品展絵画部門

○京都府信用漁業協同組合連合会会長賞

4 年

○佳作

3 年

1月行事予定



1/1	木	学校業務休止日
1/2	金	学校業務休止日
1/3	土	学校業務休止日
1/4	日	学校業務休止日
1/8	木	3学期始業式 11:30 下校
1/9	金	給食開始 5時間短縮14:30下校
1/13	火	理科朝会 児童委員会
1/15	木	児童朝会
1/16	金	新一年生体験入学(1・5年交流)
1/20	火	書初め展 CRT(国語)
1/21	水	書初め展 CRT(算数)
1/22	木	音楽朝会 書き初め展(最終日) 授業参観日③全学年 ④講演会(5,6年) ※ 講演会は保護者・地域の方もご参観いただけます。(詳細は後日)
1/26	月	新一年生入学説明会
1/28	水	ネットトラブル対策講座
1/29	木	認知症サポーター講座(4年)

～冬季休業中の電話対応について～

冬季休業中、何かありましたら、加悦小学校(43-1552)までご連絡ください。
 なお、冬季休業中の夜間等の自動電話対応は以下のとおりとなっております。
 ・平日は、17時15分から翌朝8時30分まで
 ・土日祝日および学校業務休止日(12月28日～1月4日)については終日となります。

緊急時連絡先 kaya-es-kinkyu@kyoto-be.ne.jp

芸術鑑賞 ～影絵劇団かしの樹による影絵劇に子どもたち感動～ 12月11日(木)

芸術鑑賞会として、埼玉県にある影絵劇団かしの樹に来ていただきました。初めて影絵を見る子どもが多かったようで、光と影の織りなす舞台演出に、あっと驚くワクワク感を体験しながら楽しい時間を過ごすことができました。内容は「シルエットファンタジー」「影絵劇はらぺこプンタ」「影絵なんでも質問コーナー」の3部構成でした。シルエットファンタジーが始まると、子どもたちはすぐに影絵の世界に引き込まれていきました。約90分間ありましたが、あっという間に時間が過ぎていったようです。最後には舞台裏も全員が見学させてもらいました。

これからも「本物」に触れることで子どもたちが芸術の多様性を理解し、豊かな感性や表現のすばらしさを感じる心を育んでいけるようにしたいと思います。



<6年生>加悦中学校体験入学・部活動体験(12月9日)

6年生が加悦中学校へ体験入学や部活動体験に行きました。いよいよ小学校生活が残り少なくなり、中学校入学へ少しずつ準備が進んでいきます。体験入学では、中学校生活で大切にしたいこととして、授業を大切にすること、集中して取り組む力を身に付けること、粘り強く、チャレンジする気持ちを持つことなどの話を聞きました。その後の体験授業では、英語と数学のうちそれぞれが選択した授業を受け、中学校の学習内容を取り入れた授業を体験しました。そして部活動体験では、中学生に教えられながら生き生きと活動することができました。



チームで協力！大縄跳び大会(12月16日)

異年齢班のチームで練習してきた成果を発揮する大縄跳び大会を行いました。児童会本部役員が中心となって大会を進行し、どのチームもつながりを大切に、記録に挑戦する大成功の大会となりました。当日までには、業間休みに練習を積み重ね、跳べる回数を増やすことだけでなく、言葉のかけ方、学年に応じた役割を果たすことなどを大切にしてきました。児童が主体となり取組を進める中で、たくさんの良さが見られました。



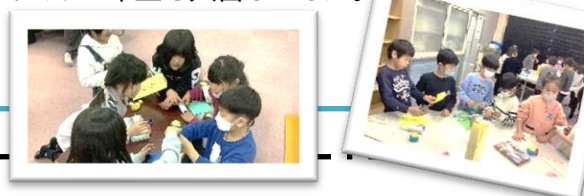
スポーツ交流(12月10日)

4年生が宮津天橋高等学校加悦谷学舎のアスリートコースの生徒と交流をしました。加悦谷学舎に行かせていただき、高校生に教えてもらいながらいろいろな運動を楽しみました。



おもちゃ祭り開催！1. 2年生

生活科の学習で、2年生が手作りのおもちゃを作り、1年生におもちゃ作りを教えてあげようと開催したおもちゃ祭り。2年生がどうすれば1年生が楽しめるかを考えながら一生懸命準備してきました。当日は2年生のやさしい関わりに1年生も大喜びでした。



授業参観ありがとうございました

12月3日(水)に行った人権学習の授業参観には、保護者や地域の皆様に児童の学ぶ様子を参観していただきました。ありがとうございました。それぞれの学年に応じて、人権について正しく理解し、自分も周りの人も大切にして、互いを認め合おうとする力を伸ばしていけるよう学習を進めてきました。今後も、人権教育を基盤にした教育活動を行っていきます。

<感想紹介>(一部抜粋)

- ・人権の授業を通して、自分の考えてる気持ちと、相手がどう考えてるかも共有できるのでいいなと思いました。
- ・親子共々、言葉の大切さ、生活の中でその言葉で相手はどう思う？自分が相手から言われたらどう？など日々の生活でこれからも話そうと思います。

「第十八回与謝野町子ども発表会」代表作品
「気候危機、どうする？」

加悦小学校六年

みなさんは「地球温暖化」について知っていますか。「オゾン層」は、「気候危機」は。知っている人も知らない人もいるかも知れませんが、わたしは、六年生になるまで、「地球温暖化」については聞いたことがあったけれど、きちんとした意味までは理解していませんでした。しかし、六年生になって二つの出会いがあったことで、「地球温暖化」や「気候危機」について理解し、考えるようになりました。今日は、誰もが関係する「地球温暖化」についてお話しします。

地球温暖化というのは、人の活動によって増えすぎた二酸化炭素などの「温室効果ガス」が地球の熱を宇宙に逃がしにくくし、地球の平均気温が上昇する現象です。また、太陽からの有害な紫外線を吸収して生物を守ってくれているのが、オゾン層です。オゾン層が破壊され、地球温暖化が進む原因は化石燃料の燃焼や森林伐採などです。そして、地球温暖化によって台風の数が増えたり、熱中症による死亡者が増えたりするなどの気候の変化を「気候危機」といいます。実際に、千八百年代と比べると地球の平均気温は^{1.5}℃も上がっているそうです。これは宮津の観測地点でも同様の変化があり、新しい日常へとなっています。

わたしが地球温暖化について考えるきっかけとなった一つ目の出会いは、「たった2℃で…」という本を読んだことです。地球温暖化は気温だけでなく、海の水温も上げています。海水が2℃上がると、海の魚や珊瑚が死んでいたり、南極の水が溶けて、生き物が生きられなくなったりすることが分りました。陸上でも、植物が育たなくなり、食料や住む場所を失われる生き物が出てきます。地球の平均気温が2℃上がることで、生き物や植物、そしてわたしたち人間も生きていけなくなるので、これ以上、気温が上がらないようにしていきたいと思いました。

もう一つの出会いは、加悦小に特別授業に来られた杉山先生です。杉山先生は東海学園大学や名古屋大学の先生であり、世界中で地球温暖化や気候危機について研究をされています。杉山先生はまず、「ゆでガエル」の話をされました。カエルを熱湯に入れると、すぐに気付いてにげることができそうですが、水に入れて少しずつ温めると、カエルはゆでられていくことに気が付かず、そのまま死んでしまうということでした。今、わたしたちはまさに、このゆでガエルのように、気が付かないうちに少しずつ温められている、ということです。

杉山先生の話のなかで、もう一つ心に残ったことは「十の行動」です。これは、地球温暖化を食い止めるための具体的な行動のことです。地球温暖化を止める方法なんて分からなかったけれど、自分にも出来ることがあると分かりました。例えば、電気を付けっぱなしにせず、使わない部屋の電気は消す、日中はカーテンを開けて日光で過すなどの節電は今すぐにも出来るそうです。また、家庭科で習った5Rを意識して、ゴミを減らす生活をして、ゴミを燃やすために二酸化炭素がつけられることを防ぎたいです。

それでも、地球温暖化を止めることは、そんなに簡単ではないと思います。そんな時は、「みんなでやろう」と声を上げることが大切だと学びました。地球温暖化を食い止めるため、十五歳の時に自ら声を上げたグレタ・トゥーンベリさんのように、自分から「二酸化炭素を増やさないようにしよう」と声を上げて、地球温暖化を食い止めたんです。今日がその第一歩だと思います。

「地球温暖化」について、分かっていただけましたか。わたしは地球温暖化と自分には関係がないと思っていましたが、本を読んだり、杉山先生の話を聞いたりして、自分にもみんなにも関係のある話だと分かりました。一人の力は小さいけれど、みんなで行動すれば、食い止めることが出来るかも知れません。だから、これからも生活をするときに「十の行動」を意識したり、地球温暖化についてもっと知ったり考えたりしてほしいと思います。みんなで、地球を守っていきましょう。

★ さんは当日に向けて、家や学校で発表練習を繰り返し、知遊館のステージで堂々と発表しました。地球温暖化について真剣に考えていくことの大切さについて、聞いている人の心に伝わる素晴らしい発表をしました。